

令和7年度 鳥取沿岸土砂管理連絡調整会議（中部地区） 議事要旨

日 時：令和7年12月16日（火） 10時～11時30分

場 所：中部総合事務所B棟2階 205会議室

1 議事

（1）サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出と今後の対応方針（鳥取県河川課）

○各海岸のサンドリサイクル実績および短長期の汀線変化傾向についての考察が報告された。

＜主な意見＞

○（鳥取大学 黒岩教授）

- ・年最大有義波高の経年変化をみると、近年は波高が増大し気候変動が顕在化しているが、一方で1980年と1990年も大きな波高の襲来がみられることから、この高い波高の発生状況は気候変動によるものか、台風や冬型気圧配置の影響によるものかを分析するとともに、過去のデータの整理が必要。
- ・土砂変化分析について、汀線変化・砂浜幅との関連性を分析ができないか。
- ・気候変動に対する海岸保全基本計画の見直しを行っているが、海岸管理については不確実性が多くあり、モニタリングをしながら計画を見直す必要がある。また、気候変動を考慮した海岸保全基本計画を変更した場合、「鳥取沿岸の総合的な土砂管理ガイドライン」の見直し、調整も必要となり、天神川、千代川、日野川も関連してくるので要留意。

（2）各管理者からの報告と主な意見

■天神川流砂系総合土砂管理計画に向けて（国土交通省倉吉河川国道事務所）

これまでの連絡協議会・技術検討会の実施状況、各領域（砂防、ダム、河道、河口域、海岸）の現状と課題、また総合土砂管理によって目指す姿と対策の報告が行われた。

気候変動を踏まえ海岸保全基本計画を見直した場合、鳥取沿岸の総合的な土砂管理ガイドラインも見直す必要があり、天神川総合土砂管理計画も土砂管理ガイドラインと調整が必要であり、千代川、日野川も関連してくることから、今後調整が必要との意見があった。

■北条川放水路における河口閉塞対策検討状況（鳥取県中部総合事務所県土整備局）

北条川放水路の河口閉塞について、当面の対策としての分水堰や河川水を利用した砂州フラッシュ実験の状況が報告された。

砂州のフラッシュには放水路内に一定の水位が必要になるが、冬季は放水路が低水位となるため、分水堰を開けて水位を高くしてはとの意見をいただいたが、北条川と北条川放水路の分岐から下流は取水樋門が多く存在し、放水路内の流量を増やしすぎると北条川の取水に影響が出る可能性があるため留意が必要との意見があった。

■海岸保全基本計画の変更について（鳥取県河川課）

気候変動を踏まえた海岸保全基本計画の変更について、昨年度までの技術検討委員会の検討結果、今年度からの検討委員会における要施設整備箇所の選定と整備方針、今後の海岸保全対策の検討状況について報告された。